

人文科学研究所研究叢書

85. 『劇場と表象 オペラ・演劇・映画と批評』

2026年3月15日発行

森岡 実穂 編著 中央大学出版部発行

定価 2,300円（税別）

ISBN 978-4-8057-5367-5

目次	
まえがき	
第一部 芸術家たちの諸相	
無形態な「音」と建築的な「音楽」 —「存在をめぐる三島由紀夫とサルトル」—	加賀野井 秀一
ローベルト・ムシルと造形芸術	早坂 七緒
神代辰巳の空間表象	伊藤 洋司
第二部 オペラ批評の現在	
歌う俳優、歌わない俳優 —現代のオペラ上演における黙役	新田 孝行
断頭台のイゾルデ —ハイナー・ミュラー演出《トリスタンとイゾルデ》の 歴史観・「愛の死」観・ユートピア観—	高橋 慎也
第三部 社会と芸術	
ひらかれていく「アウシュヴィッツ」のオペラ —ヴァインベルク《パサジェルカ》の諸演出について—	森岡 実穂